

1. ネクストやまなし研究会（仮称）

日 時：令和2年5月20日（水曜日） 15時30分～17時00分

委 員：別紙「委員名簿」のとおり

2. 内容

（研究会の総論）

- 山梨においては「やまなしグリーン・ゾーン構想」を掲げ、単純な出口戦略ではなく、「超感染症社会」に移行することを打ち出した。
- 本研究会は、「やまなしグリーン・ゾーン構想」をより前進、進化させた山梨の向かうべき方向性を議論。

（主な意見）

- 移住者と市民の間の溝を行政としてどう埋めていくか。
 - 出口戦略のみならず、生活、観光などにおいてコロナと共存できるビジネスモデルを構築していく必要がある。
 - パンデミックにより都市が弱いということが明らかになった中、未来のあり方を研究会で提示していく必要。
 - この研究会では政治、経済、社会、文化、教育のすべてのパラダイムが変わることを議論すべき。
 - 南海トラフ地震などの大震災により大都市が壊滅した場合に、地元住民を守るだけでなく、被災者の受け入れを積極的に行うなど、東京の受け皿となるべき。
 - パンデミックや大震災により首都圏が機能停止した場合に備えて、山梨において平常時から都市的ビジネスが行えるなど、首都機能の一部が代替できるようなビジョンを描いていくべき。 など
- 議論を踏まえ、山梨の新たな方向性を研究する本研究会の名称を「やまなし自然首都圏構想研究会」とし、引き続き、研究することとした。

第1回ネクストやまなし研究会（仮称）

委員名簿

区分	氏名	所属・役職
学識経験者	田坂 広志（顧問）	多摩大学大学院 名誉教授
リニアやまなしビジョン 検討会議委員	東 博暢（座長）	（株）日本総合研究所 プリンシパル
リニアやまなしビジョン 検討会議 WG メンバー	丸山 裕貴	東京大学未来ビジョン研究センター 受託研究員
二地域居住者	中村 和男	ミックホールディングス（株） 代表取締役CEO
	平林 良仁	河口湖音楽と森の美術館 代表
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
事業者	飯島 利之	富士観光開発（株） 不動産事業本部 取締役本部長
	関岡 真	（株）清里の森管理公社 専務取締役
行政（地元）	有賀 翼	北杜市 主任
	渡辺 大介	富士河口湖町 係長

（敬称略）